

吉村萬壺 小説という悪事

～芥川賞作家がガチで語る
創作の本質～

人間の根源的な部分を描く独特な作風で芥川賞を受賞した奇才・吉村萬壺氏をお迎えします。

今回は徳島文学協会会長 佐々木義登氏とトークセッションの形でご講演いただきます。

数々のインパクトある作品を創作された吉村氏の情熱にぜひ、触れてみませんか？
皆様のご来場をお待ちしております！

日時 2020年1月12日 日

14:00～16:00 (開場 13:45～)

場所 シビックセンター4F 活動室③

定員 40名 参加無料 (要申し込み)



講師

よしむら まんいち
吉村 萬壺氏

【プロフィール】

2001年「クチュクチュバーン」で第92回文学界新人賞を受賞。
2003年「ハリガネムシ」で第129回芥川賞受賞。2005年「バースト・ゾーン 爆裂地区」(書き下ろし長編)、2009年「ヤイトスエッド」、2009年「独居45」、2014年「ボラード病」、2014年「臣女」。2016年「臣女」で島清恋愛文学賞受賞。
2017年「回遊人」、2018年「前世は兎」他、多数。